

お茶の水女子大学附属高等学校

第 18 回公開教育研究会

テーマ：「探究力の向上を目指して」

1. 日 時 2013年11月16日(土) 午前10時～午後4時
2. 対 象 教員および教育関係者
3. 参加費 無料
4. 申込み 10月1日(火)より申し込みを受付けます。
※詳細は、以下の「8. 申し込み方法」をご覧ください。
5. 時 程 受付 午前9時30分～ (本校正面玄関)

	1年蘭組	1年菊組	1年梅組	2年蘭組	2年菊組	2年梅組	3年 蘭・菊・梅
① 10:05 10:55	社会と情報	化学基礎		数学Ⅱ βコース	日本史	物理基礎	現代文
② 11:10 12:00	美術Ⅰ			数学Ⅱ αコース	日本史		現代文
12:00 13:00	昼 休 み						
13:00 14:15	研 究 協 議 現代文 ・ 日本史 ・ 数学Ⅱ ・ 美術Ⅰ ・ 社会と情報						
14:30 16:00	講 演 東京大学名誉教授 御厨 貴 氏 「オーラル・ヒストリー — 課題と方法 —」						

- *ゴシック体は研究授業、明朝体は通常授業(ご覧になれます)です。
- *開会式はございません。受付を通り、各教室へいらして下さい。
- *教室の変更がある場合があります。必ず当日の案内でご確認下さい。
- *講演は2階 合併室にておこないます。

6. 講 演 「オーラル・ヒストリー — 課題と方法 —」

東京大学名誉教授 みくりや たかし 御厨 貴 氏

【講師プロフィール】

東京大学法学部卒業。専門は近代日本政治史、オーラル・ヒストリー。東京都立大学教授、政策研究大学院大学教授、東京大学先端科学技術研究センター教授などを歴任し、2012年より放送大学教授と東京大学先端科学技術研究センター客員教授、2013年より青山学院大学特別招聘教授を兼務。内閣府公文書管理委員会委員長、TBS『時事放談』キャスター。近著に、『権力の館を歩く』(毎日新聞社)、『知と情—宮澤喜一と竹下登の政治観』(朝日新聞出版)、『「質問力」の教科書』。

7. 研究授業の概要

3年生 現代文「舞姫」

荻原万紀子

森鷗外「舞姫」は教科の定番教材であるが、文章そのものの難解さもさることながら、社会背景や手記というスタイル等から、生徒にとってとらえにくい面をもっている。この作品をどう読み込んでいくか、生徒とともに挑戦したい。今回は夏休みの宿題として「舞姫」の下読みを課しており（口語訳つきだが）、そこであがってきた感想や問題点を中心に授業を行っていく。

本時は最終回で、発表と質疑中心の学習を予定している。1年次から、話し合いを通して考察を深める学習を続けてきた3年生の「伝え合う力」に期待したいが、一方で受験の迫るこの時期にどれだけ関心を持ってくれるかという不安もぬぐえずにいる。

2年生 日本史「明治時代の子どもになって遊んでみよう！」

－絵双六「尚武須護陸（しょうぶすごろく）」を教材に－ 石出みどり

浮世絵の木版技術の発達を背景に普及した絵双六は、明治時代になると文明開化や富国強兵策を背景に、国民教化のための遊具ともなった。「尚武須護陸」は日清戦争開戦の前年に「武をとうとび、すべからく陸を護るべし」の意をこめて発売され、「小学校教場の図」を振り出しに「大将」と「靖国社」の2つを上がりとしている。

本時は通常の近代史学習とは別に、この双六遊びの体験を通して軍人に志願すること、戦死を名誉とする考えがどのようにして広まっていったか、子どもの遊びと国策の関係について考えさせたい。

2年生 数学Ⅱ（ α コース・ β コース）「常用対数表の力」十九浦美里 内藤まり

新課程になり学習内容が純増し、教員がいつも進度に追われる状況が現実としてはある。だからこそ、通常の授業の中でいかに生徒が意欲的に取り組み、自分で考える姿勢を養えるかが非常に重要な課題であると日々感じている。

今回は「対数関数」の最後の単元である「常用対数」を扱う。対数の学習のまとめとして、生徒が主体的に、これまでの学習を活用し、対数の面白さを実感できる授業を目指したい。また、昨年度より本校数学科では、2年生の数学Ⅱにおいて、「やや発展的な α コース」と「標準的な β コース」の2コースを設定し、生徒自身がクラスを選択するという方法でクラスを分割して授業を行っている。この2つのコースでの同じテーマの授業の様子をそれぞれご覧いただき、授業形態などについてもご意見を伺えればと考えている。

1年生 美術Ⅰ「映像メディア表現における未来型授業の試み」

吉村雅利 柿島まりあ

未来型授業とは何か、それに定義があるのかも知らないが、個人的には「ICT活用」「反転授業」「協働学習」を合わせたものをイメージしている。しかし本校の現状は、ICT機器を全員が使えるほど設備は充実しておらず、E-learningのような学習環境もなく、他の学校や組織とのコラボがある訳でもない。この授業では将来の環境をイメージし、そこで発揮できるICT活用力、創造力、協働力を培うことを目指している。

1年生 社会と情報「ビブリオバトルを題材とした情報発信活動の総合演習」

小野永貴

ビブリオバトルとは、数名の発表者が書評を発表し、聴衆全員で「最も読みたくなった本」に投票してチャンプ本を決めるゲームである。現在学校現場でも、読書推進の一手段として盛んに導入が試みられている。

一方本校では、2年前より情報科の授業で取り上げ、情報表現・情報発信の総合的な演習題材として活用してきた。手軽な書評発表ゲームを通して、プレゼンテーションの多様な表現手法を振り返るほか、マルチメディアによる情報発信技術、安全に発信するための知的財産権の考え方など、多様な知見・姿勢を体得できると考えている。

8. 申し込み方法

①氏名（フリガナ） ②所属（学校名等） ③参観予定の公開授業 ④参加予定の研究協議
⑤連絡先（電話番号、E-mail アドレス）を明記のうえ、メールまたはファックス（下の加申込票を利用）にて下記までお申し込み下さい。折り返し、確認のご連絡をいたします。
・受付は **10月1日（火）より開始します。11月8日（金）まで**にお申し込み下さい。

・昼食のお弁当（代金 1000 円）を希望される方は、あわせてお申し込み下さい。

湯茶用意はございます。また周辺にはコンビニ、飲食店もございます。

◎ 申込先 〒112-8610 文京区大塚 2-1-1
お茶の水女子大学附属高等学校研究部 三橋一行
FAX 03-5978-5858 TEL 03-5978-5856

E-mail koukaiken2013-fk@cc.ocha.ac.jp

ホームページ <http://www.fk.ocha.ac.jp/>

◎ 案内図 <http://www.fk.ocha.ac.jp/access/>

◎ 最寄り駅

東京メトロ丸の内線 茗荷谷駅 徒歩約 6分

東京メトロ有楽町線 護国寺駅 徒歩約 13分

